



JIA プレスリリース

葛西臨海水族園についての意見書を提出

公益社団法人 日本建築家協会
会長 六鹿正治

2019年12月17日

公益社団法人日本建築家協会（JIA）会長 六鹿正治は、過去の貴重な建造物を現代の最新のまちづくりに確実に生かしていくことが大変重要なものと考え、葛西臨海水族園についても新しい環境創造の中に生かす形で保存再生することを考慮いただけるよう本日、小池百合子東京都知事へ意見書を提出致しました。

意見書の内容は別添の資料をご確認ください。

〔この件に関する問合せ先〕

東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4階

お問合せ：公益社団法人日本建築家協会 担当：筒井、北澤

電話 03-3408-7125 FAX 03-3408-7129 e-mail skitazawa@jia.or.jp



令和元年12月17日

東京都知事
小池百合子殿

公益社団法人 日本建築家協会
会長 六鹿正治



葛西臨海水族園についてのお願い

東京都におかれましては、日頃、建築や環境に関わる行政において並々ならぬ努力を重ねておられることに対し、私ども日本建築家協会として深く敬意を表すものでございます。

特に東京都内に現存する歴史的建造物の保存再生に対してはひとかたならぬご尽力を賜り、過去20年ほどの間に、三井本館、明治生命館、日本橋高島屋など貴重な建造物の保存再生が実現に至りました。

過去の貴重な建造物を現代の最新のまちづくりに確実に生かしていくことは、環境的豊かさの増幅、記憶の継承、文化的厚みの維持向上などの観点から大変重要なものと考えております。

このたび、東京都におかれましては、葛西臨海水族園の更新・建替えを検討中とのよし伺っております。ご承知のように現存の建築は都民をはじめ多くの来園者に長く愛されてきたばかりでなく、国内外を問わず美しい建築としての極めて高い評価を博してきたものでございます。

このたびの建替えにおきましても、現存の建物の価値を十分にご検討いただき、新しい環境創造の中に生かす形で保存再生することをご考慮いただきますよう心からお願いいたします。このような美しい建築を確実に次の世代に伝えていくことも私たちの世代に課された文化的責任ではないかと考察するところでございます。

東京都におかれましては、近現代の名建築を新しいまちづくりの中に生かしつつ次の世代に確実に継承していく方針を一貫して進めて行かれることを、日本建築家協会として力強く支持するものでございます。よろしくお願いいたします。